



山口調理製菓専門学校長 須内章雅  
Sunouchi Akimasa

## ○ 重陽

前回料理と図形ということで記述しましたが、また美しい形を見つけました。和菓子づくりの実習で、菊の花4態です。9月9日は重陽の節句であり、家族の無病息災、子孫繁栄、不老長寿を願う日であると説明がされていました。今、この節句はあまり広く意識されていませんが、菊の花を飾ったり栗ご飯を食べたりするそうです。その節句にちなんだ和菓子です。食べるのがもったいないような美しさです。

秋を味わう日という感じですが、今の9月9日は、かつてよりも気温が高いのでだいぶ趣が違います。旧暦では今年は10月4日とのことです。これなら落ち着いて味わえそうです。



つくられた和菓子を観察してみると花びらの数は10から20数枚あります。一番左のものは写真では数えきれません。しかしこれは全て手づくりです。細工用のハサミを使用して一枚一枚でいねいにつくられています。これらの作品の制作で私が特に感心したことは「～角形」にかかわることです。花びらをつ一つつにつくっていき、一周回ったところで最後の一枚がちょうど収まるようになっていることです。挑戦した学生諸君もそのあたりに苦労したのではないのでしょうか。大局を見ながら細かな部分を美しく仕上げる職人技は惚れ惚れしますね。

さて、菊の花の話題になりましたが、他の分野でもしばしば登場します。たより35号では陶芸で粘土を練るときの「菊練り」を紹介しました。私は別の場面でごづくりをしています。底の編み方の一つに「菊底編み」という技法があります。骨を十文字に置いたものに円を描くように細い編みひごを上下互い違いになるよう巻いていく方法です。先人たちはこの形に菊の花を重ねて命名しました。日本人には特に大切な花の中の一つと言えるのでしょうか。



## ○ 9月9日

重陽の節句という話題から変わって、この日が記念日として制定されているものにはどんなものがあるのかと調べてみました。「救急の日」や「九九の日」は容易に想像できましたが、「温泉の日」というものがありました。大分県九重町が制定したもので、「町内にある温泉郷のうち、宝泉寺温泉、壁湯温泉、川底温泉、竜門温泉、湯坪温泉、筋湯温泉、笠の口温泉、長者原温泉、寒の地獄温泉の9つの温泉を「九重九湯」としていたため、この日付が記念日になりました。」との説明がありました。温泉は日本人（外国の人）も愛してやまないものの一つと言えるでしょう、私も筋湯温泉に泊まったことがあります。温泉につかるのが旅の第一の目的ですが、食事は第二の目的と言えます（人によってはこちらが一番かも知れない）。コロナのため、このような旅行がしばらくできていません。速く復活させたいものです。

## ○ 自校自賛

台風11号が6日に山口県の近くを通り過ぎていきました。大変強い勢力であり西側を通過するというので当初は警戒をし、建物のまわりに危険なものはないかを見回してみました。あらためて気づいたことですが、本校のまわりには余計な物品がなく、片付けは楽でした。屋上に休憩用のベンチがあったので、室内に移動したくらいです。幸い大きな被害もなく杞憂に終わりました。花壇の花は少々折れましたが頑張って今も咲いています。

今回の植物 : ナンテン (南天) 乾燥させた実から咳止めの効果が期待できることから薬用植物としても扱われます。葉は食べ物に添えられることもありますね。冬に実が赤くなったらまた展示したいと思います。

